

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第5部門第2区分
 【発行日】平成18年7月20日(2006.7.20)

【公開番号】特開2005-140168(P2005-140168A)
 【公開日】平成17年6月2日(2005.6.2)
 【年通号数】公開・登録公報2005-021
 【出願番号】特願2003-374651(P2003-374651)
 【国際特許分類】

F 1 6 C 33/58 (2006.01)

F 1 6 C 33/62 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/58

F 1 6 C 33/62

【手続補正書】

【提出日】平成18年6月2日(2006.6.2)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

軌道輪に絶縁被膜を有する転がり軸受において、

前記絶縁被膜は、合成樹脂と、直径5～9μmのガラス繊維と、比抵抗が $1 \times 10^{10} \Omega \cdot \text{cm}$ 以上で且つ熱伝導率が $10 \text{ W/m} \cdot \text{K}$ 以上の熱伝導性物質と、を含む樹脂組成物からなり、前記樹脂組成物中の前記ガラス繊維の含有率は15～40質量%で、前記熱伝導性物質の含有率は15～45質量%であることを特徴とする転がり軸受。

【請求項2】

合成樹脂は、PPS樹脂、芳香族ポリアミド樹脂、及びポリアミド46のいずれかである請求項1記載の転がり軸受。

【請求項3】

合成樹脂の分子量は、平均分子量で13000～30000の範囲である請求項1または2記載の転がり軸受。

【請求項4】

絶縁被覆は、引張強度が90MPa以上であり、シャルピー衝撃強度が 4.5 kJ/m^2 以上であり、120、面圧 2.9 kg/mm^2 、100時間の条件での寸法変化率である圧縮クリープ歪みが-2.2%以下である請求項1～3のいずれか1項に記載の転がり軸受。